

金属薄膜ヒータ（アビルヒータ）による高麗芝の冬季緑化検証 新明工業(株)／ICN(株)／豊田市



<実証の概要>

- ・目的：省エネルギーと高い安全性を持ったヒータによる加温で、冬場（11月～2月）でも高麗芝の緑を維持できるか検証する。
- ・実証概要：地中（10cm）にシリコンヒータを埋込み加温
ゾーンを3分割し評価を実施（無加温・15℃加温・20℃加温）
（定期的に気温・地中温測定と水やり（1回／3日程度）を実施）



ヒータ素材の発熱後状態

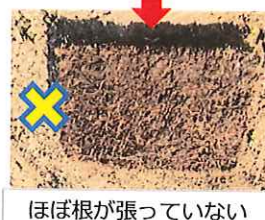


瞬時に800℃まで加熱

<実証の経過および結果>



設置状況



ほぼ根が張っていない



自然放置に比べるとやや根が張っている



しっかりと根が張っていた

<今後の方向性>

▶実装化に向け、芝冬季（又は短時間）緑化ニーズ調査と対応案策定を実施

またこの技術を活用し、熱源を植物等に与えることで、成長を促進させ、①農産物等の高付加価値化、②農業に係る労力の低減などの実現を目指す。これらの実現により、①食糧問題の解決、②農業の活性化、③高齢化社会への対応などに貢献していく。